

質問回答

2015年4月30日

2015年5月1日追記

「エチオピア国品質・生産性向上、競争力強化のためのカイゼン実施促進能力向上プロジェクト」

(公示日:2015年4月15日 / 公示番号:150186)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答						
1	(6) TICAD 産業人材育成センター (P6)	業務指示書本文P5「(6) TICAD産業人材育成センター」の項に、「アフリカ域内」との表現がありますが、具体的にはアフリカのどのエリアを想定されているのでしょうか。あるいは、アフリカ全土を想定されているのでしょうか。	エチオピアの TICAD 産業人材育成センターについては、基本的には英語圏アフリカ(ケニア、タンザニア、ザンビア、ガーナ等)の拠点となることが想定されています。						
2	7 成果品等 (1) 報告書 (P13)	業務指示書本文P13「7成果品等 (1) 報告書」の表の中で、以下の赤字下線箇所は誤植でしょうか。 <table border="1" data-bbox="757 858 1366 1168"> <tr> <td>プロジェクト 業務進捗報告書(その1) 事業完了報告書</td> <td>業務開始から約12か月後 契約終了時</td> <td>英文:10部(内先方へ7部) 和文:3部 レポートのCD-ROM(英文・和文) 英文:部</td> </tr> </table>	プロジェクト 業務進捗報告書(その1) 事業完了報告書	業務開始から約12か月後 契約終了時	英文:10部(内先方へ7部) 和文:3部 レポートのCD-ROM(英文・和文) 英文:部	誤植です。正しくは、以下のとおりです。 <table border="1" data-bbox="1388 858 1993 1126"> <tr> <td>プロジェクト 業務進捗報告書(その1)</td> <td>業務開始から約12か月後</td> <td>英文:10部(内先方へ7部) 和文:3部 レポートのCD-ROM(英文・和文)</td> </tr> </table>	プロジェクト 業務進捗報告書(その1)	業務開始から約12か月後	英文:10部(内先方へ7部) 和文:3部 レポートのCD-ROM(英文・和文)
プロジェクト 業務進捗報告書(その1) 事業完了報告書	業務開始から約12か月後 契約終了時	英文:10部(内先方へ7部) 和文:3部 レポートのCD-ROM(英文・和文) 英文:部							
プロジェクト 業務進捗報告書(その1)	業務開始から約12か月後	英文:10部(内先方へ7部) 和文:3部 レポートのCD-ROM(英文・和文)							
3	業務指示書P4「高等教育支援」 業務指示書本文P16「高等教育強化支援」	評価対象者の担当分野に以下2種類の記載がありますが、どちらが正しいでしょうか。 業務指示書P4「高等教育支援」 業務指示書本文 P16「高等教育強化支援」	誤記がありました。両者を「高等教育支援」に統一いたします。						

4	6 業務の内容 ・カウンターパート研修(P9 及び P11)	指示書には本邦・第三国におけるカウンターパート研修の参加想定人数や想定回数が見られておりませんが、人数・回数・開催地によって必要な経費が大きく異なります。研修監理業務(フライト・ホテル・国内移動・ビザ・保険等の手配、そしてこれらの費用の支払い)は、JICA とコンサルタントのどちらの責任で行われるのでしょうか。もしもコンサルタントの場合は、本項目を別見積とさせていただくか、目安となる人数及び開催回数をお示しいただけませんでしょうか？	カウンターパート研修については、本邦(または第三国)における研修員受入事業を年1回×5名を毎年(計5回)実施することを想定しています。5回の内2回を第三国(マレーシア等)で実施することを想定していますが、上記と異なる研修体系の提案も可能です。研修は、 <b>本邦での研修の場合は</b> コンサルタント等契約における研修実施ガイドラインに基づき実施していただきます。研修監理業務はJICAの責任範囲となります。 <b>第3国での研修の場合の研修監理業務はコンサルタントの責任となりますので、必要な経費を本見積に計上して下さい。</b>
5	6 業務の内容 ・他のアフリカ諸国との知見共有(P11 及び P13)	指示書には、対象となる他のアフリカ諸国の国数、参加人数、本プロジェクトによる経費(関係者の渡航費等)の負担の有無が特に示されておりませんが、どのような前提を置くかによって費用が大きく異なります。上記同様、研修監理業務がどちらの責任であるのか、コンサルタントである場合には本項目は別見積とさせていただくか、イベントの規模(参加国数や人数)・回数や、経費負担(渡航費を参加国側が負担するのか等)、ロジ面の負担(他国開催をも前提とする場合には誰が他国での準備作業を行うのか等)について、目安を示していただけませんでしょうか。	他のアフリカ諸国との知見共有はプロジェクト期間中4回、1回につき15名～20程度の招へいを想定しています。イベントそのものは1日～2日程度を想定しています。原則、旅費(航空賃・日当宿泊等)については参加国(又は参加国で実施しているプロジェクト)が負担することを想定しています。開催地はエチオピアを想定していますが、第三国研修と合わせて実施する場合はその限りではありません。いずれの場合においても実施場所、時期、規模等について JICA と事前に相談して決定することになります。なお、1年次は2015年9月上旬にエチオピアで実施することが検討されています。  会場費、教材作成費等の直接経費としては、1回につき500万円を、本見積に計上してください。

6	7 成果品等 (1)報告書 ・第1フェーズ成果物の「プロジェクト業務進捗報告書(その1)事業完了報告書」(P13)	プロジェクト業務進捗報告書(その1)に書かれております「事業完了報告書」及び「契約終了時」の文言は間違いと思われます。	2の回答のとおりです。
---	---	---	-------------

以上